

新しいべっ甲製品の提案

東京都指定伝統工芸の「江戸鼈甲（べっ甲）」を作る東京鼈甲組合連合（以下、組合）より新たなべっ甲製品の開発依頼があり、共同で商品企画開発を行いました。

商品企画

従来のべっ甲製品（図1）は眼鏡やアクセサリ等が中心でしたが、より多くの方にべっ甲を知ってもらい、新しい販路を開拓するために、今までに無い新しいべっ甲商品を共同で開発することになりました。まずべっ甲製品の製作現場を訪問しました（図2）。



図1 従来のべっ甲製品



図2 べっ甲製品製作現場

その後、商品企画セミナー（図3）を開催し、組合が商品企画の手法を学んで商品企画書を作成しました。



図3 商品企画セミナー

デザイン・試作

組合が作成した商品企画書を基にアイデアスケッチ（図4）を行い、その中からランプシェード、箸、ネームプレート、カチューシャを試作することになりました。



図4 アイデアスケッチ

ランプシェード及び箸は三次元CADを利用して設計。設計データを基にべっ甲部分は組合が作成しました。その他の部分は都産技研がナイロン粉末造形機を使用して造形し（図5）、仕上げ塗装を行いました。

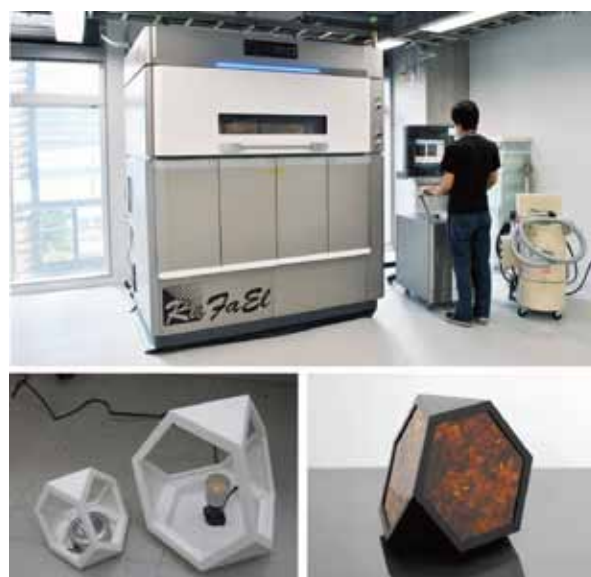


図5 ナイロン粉末造形機（上側）
造形したランプ（左下）
塗装したランプ（右下）

すべての試作品は、実際に使用できるレベルであり、展示によるアンケートに加えモニターリサーチも可能です。

今回の開発製品の特徴は、ランプシェードが従来の電球では発熱の問題があり実現できなかった点を、低発熱のLEDライトを使用することにより解決したことです。また、べっ甲のシンボルマークである六角形をモチーフにして形状をまとめました（図6）。



図6 ベっ甲ランプシェード

箸はべっ甲が水分に弱い問題点を考慮して、食材に触れる部分には木材を使用しました。手に触れる部分には手に馴染むべっ甲を使用し、コンパクトに折りたためて持ち運べる携帯箸にしました（図7）。箸置きには、都産技研が開発した再生べっ甲を利用しています。



図7 ベっ甲マイ箸

カチューシャはべっ甲細工定番の髪飾り、そして眼鏡の特徴を活かしてサングラス風カチューシャにアレンジしました（図8）。ワンポイントのスワロフスキーがフォルムを引き立てます。



図8 ベっ甲カチューシャ

展示会

試作品完成後、展示会用のPOPや、パンフレットを都産技研が作成し（図9）、東京都伝統工芸品展、雑貨EXPO等の展示会に出展し多くの反響を得ることができました（図10）。今後は、展示会で得られた様々な意見や反響を活かして、商品化へと繋げていく予定です。



図9 POP及びパンフレット



図10 雑貨EXPO商談風景

都産技研本部の開設に伴い、システムデザインセクターには新たに創作実験ギャラリー（図11）がオープンしました。今後、このギャラリーはデザイナーと企業とのマッチングの場や、都内デザイン活動の発表の場として広く活用していきます。今回開発したべっ甲製品も展示しておりますので、是非お越しいただき、ご覧ください。



図11 創作実験ギャラリー

事業化支援本部 システムデザインセクター
上野 明也 TEL 03-5530-2180
E-mail:ueno.akinari@iri-tokyo.jp